

【別紙】平成30年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立八幡木中学校)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	自ら学ぶ生徒・心豊かな生徒・たくましい生徒
目指す学校像	学びの学校・落ち着いた学校・信頼される学校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	名
事務局 (教職員)	名

学 校 自 己 評 価					
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価 (平成 年 月 日 現在)	
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
組織運営	①恒常的な異動に伴い、計画的な職務遂行のために、分掌組織や指導体制をより磐石にする必要がある。 ②学校は落ち着いたが、指導上配慮を要する生徒がおり、特に不登校の未然防止・解消については重要課題と捉える。	①教職員間の報告・連絡・相談・見届けを徹底し、分掌組織の活性化と指導体制の確立を実現する。 ②いじめ・不登校等の非行問題行動の未然防止と早期発見・解消を積極的に推進し、不登校の割合を2.5%未満にする。	①中・長期的な目標の設定および計画の立案を通して、教職員の参画意識を向上させる。 ②常に適切な見立てと見通しをもって初期対応にあたり、自他共に認め合えるよう、自尊感情を高める積極的な生徒指導を実践する。		
教育課程	①学習意欲の向上や家庭学習の定着等、一人一人の情意面の高揚を図り、主体的に学習に取り組む力を育てる必要がある。 ②学力向上の取組を推進し、全国・埼玉県学力学習状況調査の結果を向上させることが課題である。	①生活規律を基盤とした学習級経営と、学び合いを取り入れた指導法の工夫改善を実践し、学習意欲を向上させる。 ②補習や家庭学習の充実を図り、基礎学力の習得・定着に重点をおいた学力向上を実現する。	①本校「生活5目標」を基盤として落ち着いた学習集団を形成し、学び合いを通して主体的な学びを促す指導法を実践する。 ②時制を変更することで補習等の時間を確保し、計画的・継続的に中位層・下位層の学力の底上げを行う。		
開かれた学校づくり	①協力的な地域・保護者の信託に応えるため、開かれた学校づくりを工夫・発展していく必要がある。 ②さらに特色ある学校、信頼される学校にするため、地域との情報連携、行動連携をより充実させることが課題である。	①継続事業の活性化とともに新規事業を立案・計画・開催し、開かれた学校づくりをさらに推進する。 ②一方通行ではなく双方向の情報連携・行動連携を推進するとともに、生徒・教職員が積極的に地域と関わる取組を実践する。	①従来の学校公開を充実させ、新規に日曜参観・PTAバザーを開催することで、来校の機会を増やす。 ②学校応援団による環境整備と、生徒会による地域清掃ボランティア活動の連携を図り、参加型の連携を積極的に推進する。		
教職員の資質向上	①学校内外の研修内容を実践に活かすために、事前の取組と事後の振り返りを工夫・改善する必要がある。 ②年々、若手教員が増加傾向にあるため、教科指導・生徒指導・学級経営等の指導力向上とメンタルヘルスが課題である。	①教職員が必要性を感じ、即実践に活かせるようなテーマを吟味し、学校内外の研修を設定・推進する。 ②若手教員に対し、相談・支援を含めた適切な指導助言を行い、ベテラン教員と力を合わせ、学校全体で指導育成に努める。	①教職員のニーズを把握し、積極的に学ぶ機会を与え、効果が表れているかを見届け、指導助言を行う。 ②若手教職員を中心に日常的な教室訪問や定期的な面談等を通して、一人一人に個や組織を高める力を計画的に育成する。		
施設・設備等の管理	①校舎の老朽化に伴い、よりきれいに大切に扱おうとする心の醸成を一層図っていく必要がある。 ②施設・設備については、大規模な修繕や適切な維持管理が必要な箇所があるため、環境整備や安全管理の徹底が課題である。	①学級経営を基盤として心の教育を充実させ、清掃指導や掲示教育、校内美化の徹底を図る。 ②関係各課や各種業者と折衝しながら改善策や対応策を検討し、教職員の協力を得ながら教育環境の整備に取り組む。	①教職員が率先垂範で毎日の清掃活動に取り組み、校内の掲示物を充実させ、校内美化を促進する。 ②毎日の校内巡視と定期安全点検を形骸化せずに実施するとともに、その結果を修繕・廃棄に活かし、教育環境を整備する。		

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日	平成 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	